

2024 第95回メーデー

NY外為市場で円は160円近くまで下落 その中でメーデーが盛大に行なわれた

ジャーナリスト 平林 猛

こんな無茶苦茶なドル高円安の経済状況の中で4月27日、労働者の祭典「第95回メーデー(May Day)中央大会」が、代々木公園(東京都渋谷区)にて開催された。

主催団体は日本最大の労働組織「連合」(日本労働組合総連合会)である。加盟組合員は約70万人。そして二日目は5月1

日、メーデーの主催団体は「全労連」(全国労働組合総連合)、ナショナルセンターであった。「全労連」は、昭和64年に「連合」が結成されたが、「労働界の右寄り(右翼的)再編」として、「官公労」中心の「総評」のうち、自治労から自治労連、日教組など共産党支持の各労組内非主流派が結成した新単産(産業別単一労働組

4.27 警戒態勢の「連合」メーデー



芳野会長

第一日目、「連合」主催のメーデーが4月27日、午前10時から東京代々木公園で開催された。

主催者を代表して挨拶を行なった芳野友子・中央実行委員長・連合会長は、「連合の労働運動は、自由で民主的な運動を拡大していくというところから始まっている。その点で共産党とは考え方が違い、相いれない。現実的にも、連合の組合と共産党系の組合は職場、労働運動の現場で日々競合し、しのぎを削っている」と述べ、あらためて共産党との共闘を拒絶した。

今年の1月1日に発生

今年も車椅子エリアは横に設けられステージが見えない(車椅子は平林氏)



得ない」と語る。

芳野会長はこう発言をしているが、本場に中小零細企業など弱者の立場に立った労働運動ができるのだろうか。

今、4人に1人が非正規で働いている。「賃上げした」と言うが、賃上げは本来はストライキで勝ち取るもので、それを政府の言う事にぶら下がり、経済政策として大手だけが賃上げをしているだけの話ではないだろうか。それは労働組合が対決して本場に得た成果ではなく、談合によって回答(成果)を得ただけなのではないか。それに甘んじて、中小零細企業、非正規を置き去りにするような連合の姿勢というのは、今の時代状況からはピント外れになっているのではないかと述べている。

また、闘争について、大企業から中小企業にわたって高い賃上げが実現していることに触れた上で、「しかし、幾ら賃上げしても1ドル158円台を上下する強烈な円安の中、賃上げ、果たして、効果があるのかと考えざるを得ない」と述べている。

窮地に立つ岸田総理

続いての来賓挨拶は、



岸田総理

政府を代表して岸田文雄内閣総理大臣が登壇した。

昨年、安倍晋三元総理大臣が近鉄奈良線の西大寺駅前で「暗殺」される事件が発生し、緊張が走る会場内外には何百人もの警察官が警戒態勢を張っていた。その中で、「裏金問題」を抱えながら、未だ何一つ説明できず、政治不信を招いている立場に立つ総理は、危機感が迫る肉声を張り上げていた。

「岸田政権では経済、経済、経済と申し上げてきた。長年にわたり染み付いたデフレ心理を払しょくし、賃金上がるのとが当たり前の方向に社会全体の意識を二気呵成に変えなければならぬ」という思いで、「一歩も二歩も踏み込んだ政策を続けている。今年、物価上昇を上回る所得を必ず実現する。そして来年以降に物価上昇を上回る賃上げを必ず定着させる」と述べ、「2030年代に入るまで、少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスであるとの認識のもと、約3・6兆円規模に及ぶ子ども・子育て支援を実施する。長年指摘されながら実現することができなかった施策を盛り込んだ「子ども・子育て支援法等改正法案」の国会会中の早期成立に向けて最大限努力をする」とした上で、「今後、連合の皆さま方のご意見に耳を傾け、より連携し、政策をつひとつ果断に、丁寧に進めていく」と語った。

小池知事の実体は？



小池知事

続いて、東京都を代表して小池百合子知事より挨拶が行なわれた。都知事選を控え、カイロ大時代時代のスキャンダルが報道され、弱り目に祟り目の小池氏。8年前、自民党を離党し「反自民」を掲げて都知事に当選したが、今は都民の暮らしよりも、財界の利益を最優先にする自民党政治そのものに先祖返りしている。

その小池知事は「連合の皆様には、都の施策に対して現場の実情を踏まえた貴重な提言を頂いて

野党党首らの訴え

次いで、立憲民主党、国民民主党の両党の代表より挨拶が行なわれた。

メーデーでの挨拶は初めての泉健太・立憲民主党代表は、「私たちはまっとうな政治をめざして闘う。金儲けに熱心になる政治を変えて、皆さんの生活を改善する政治に邁進する。そしてまっとうな政治とともにまっとうな資本主義が必要。今、政治を変える局面が来ている。私たちは全国、国会の中で闘っていく」と語る。

続いて、同じく挨拶は初めての玉木雄一郎・国民民主党代表は、「国民民主党は結党以来、給料が上がる経済の実現を掲げてきた。今年の春季生活闘争の結果は素晴らしいと思うが、新しいステージにどのように入っていくか

が重要である。働く人が希望をもって、安心感をもつて働くことのできる、未来への希望を持てる社会を創ることをお誓い申し上げる」と述べた。

能登半島地震復旧・復興の現場から、連合石川かなざわ地域協議会の坂本修一事務局長が登壇、能登の現状を語った。「能登半島地震に際し、連合本部をはじめ、構成組織、地方連合会、関係組織より温かいご支援をいただきとともに、ボランティア派遣も開始され、復旧・復興に向け被災地の皆さんに心より感謝申し上げます。今回の震災は能登のみならず広域にわたり、地域の特性により復旧・復興に向けては息の長い取り組みが必要であることを知っていただき、引き続きのご支援をお願い申し上げます」と訴えた。

最後に、山崎卓也・メーデー常任実行委員(日教組組織局長)がメーデー宣言を提案し、満場の拍手で採択され式典は、高谷鮎香・メーデー常任実行委員(電力総連組織局長)の「頑張ろう!」三唱で閉会した。



石川県震災支援のテント



ステージ前はSPや連合スタッフの警備でもものしい雰囲気

5.1 雨中の全労連メーデー

さて、二日目のメーデーは「全労連」主催で5月1日、代々木公園で開催された。

新たな女性党首は語る「ストライキこそ最大の武器」

五月雨が降る中、「自民政治ノー！大幅賃上げ！」を叫ぶ労働組合員ら約1万2000人が式典に参加した。

またこの日は、企業献金で「裏金」を貯め込み、財界、大企業優先政策で日本を「賃金が上がらない国」にした自民党政治を終わらせ、労働者・国民の要求を実現できる政治に転換させようと、全国300カ所以上でメーデーが開かれた。

小畑雅子・全労連議長は、「全ての労働者の賃上げを求め、ストライキを構えて闘い続ける仲間に敬意を表する」と挨拶。「能登半島地震の被災地の復旧・復興に対し、全被災者に寄り添う万全の支援継続を求めると訴えた。

来賓の田村智子・日本共産党委員長は「政治を変えて欲しい。暮らしや経済のいきづまりを何とかして欲しい。そのものと



雨中のメーデーに多くの参加者が



田村委員長

である」は、新たに日本共産党党首になった田村智子の「怒りの誓い」である。さて、中央メーデーは小雨の降る中、約1万2000人の労働者たちが集会新宿、原宿の3方向に向かつてデモ行進が行なわれた。

100万人いると言われている全労連も今は55万人。これだけ落ち込んだのは、労働者から見ても理解・納得が得られるような総括がされていないからではないだろうか。全労連といえども企業内組合の連合体である。

田村委員長は令和6年(2024年)1月に「党勢低迷・党内の閉鎖性」といった負のイメージ刷新のため、日本共産党の党首となったばかり。

闘う労組ここにあり

全労連と共産党は、「ストを構えて、物価高騰を上回る大幅賃上げ」と昨年より更に多くのストを決定し、「闘ってこそ賃上げは実現できる」と労働者の団結権を掲げ、多くのストを打ち、「物言う労働組合」を語る。

最後に「戦争国家を許さない」「教え子を戦場に送らない」など「憲法9条の旗は労働運動の原点



雨にも負けず3ルートで行なわれたデモの長さは各2kmにもおよんだ

日本のメーデーの歴史

「血のメーデー」を嫌い、「スポーツ祭典、お祭りメーデー」に展開労働運動の意義喪失と反対分裂したメーデー



血のメーデー事件(1952年)

「メーデー」は「五月祭」を意味し、春の訪れを祝う祭が5月1日、ヨーロッパやアメリカの各地で催されていた。

世界的には、1886年(明治19年)5月1日に「アメリカ職能労働組合」がシカゴの「AFL」アメリカ労働総同盟を中心に、8時間の統一ストを行なった。このストが世界のメーデーの起源である。つまり、メーデーは5月1日がまるく決まらずに守られている。



1920年(大正9年)、日本での「第1回メーデー」(主催：大日本労働総同盟／主催者：鈴木文治)

日本初の第1回メーデー(1920年・上野公園)



1946年、戦後、初めてのメーデーは「働けるだけ喰わせろ」をスローガンに掲げ、「第17回大会」が開かれた。この大会は世相を反映して「食糧メーデー」または「飯米獲得人民大会」とも言われ、全国で100万人、中央の宮城前広場には50万人が集まったのである。

また、後日「米よこせ！」を叫ぶ市民が宮城内に入り、5月19日の「食糧メーデー」には25万人が集まり、民主人民政府の樹立が決議された。

1951年(昭和26年)の「第22回大会」では、サンフランシスコ講和条約締結を控えて、反対運動の盛り上がりを見せた政府とGHQは、メーデーの皇居前広場の使用を禁止した。そのため、「総評」は中央メーデーを中止したが、統一メーデー促進会が「再軍備に反対せよ」のスローガンを掲げて芝公園で実質的な中央メーデーを開催した。その際に皇居前広場から会場の芝公園に向かうとした

デモ隊が警官隊と衝突し、流血の惨事となった。いわゆる「血のメーデー事件」である。

その後、高度経済成長期には総評や同盟などの共催で統一メーデーが続けられ、1984年(昭和59年)の「第54回大会」では、特別決議として「メーデーの祝日化要求」が採択された。

1985年(昭和60年)の「第55回大会」では、スローガンに「週40時間制」「太陽と緑の週」の法制化など、労働時間短縮の実現が掲げられた。そして新たに「スポーツ祭典」が併催されて、「お祭りメーデー」と呼ばれる家族ぐるみの行事に発展した。だが、労働運動としての意義の喪失に繋がると、社会党や共産党、多くの労働組合から反対や再検討を求める批判がなされた。

その後、労働組合の全国組織の再編による組織対立の激化で、1989年(平成元年)以降は統一メーデーの開催が見送られ、「連合」と非連合系の「全労連」による分裂開催となり、非現実的に開催が今日まで続いているのである。これは労働組合にとって「良い事か、いや」「不吉」な事か。政府に反対する労働団体と考える必要があるのではないか。政府は一つであることを考える必要がある。

2年目のベトナムフェスティバル大阪

二日間で11万人が来場の大盛況

4月27日と28日の両日、大阪城公園・太陽の広場(大阪市中央区)で、「ベトナムフェスティバル2024大阪」が開催され、二日間で約11万5000人の来場者でにぎわった。主催：ベトナムフェスティバル大阪実行委員会／共催：大阪ベトナム総領事館／後援：ベトナム外務省、外務省、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、日越関西友好協会ほか。

ベトナム政府唯一の国外公認事業である「ベトナムフェスティバル」は、2008年に「日越外交関係樹立35周年」を記念して、東京・代々木公園において第1回を開催して以来、日越両国における文化交流を象徴する祭典となつている。「ベトナムフェスティバル」が大阪で開催されるのは、「日越外交関係樹立50周年」を記念して行なわれた昨年に続き今回が2回目となる。

越日相互関係強化に
ハニ総領事

ハニ総領事(左から3人目とヒエウ大使(同4人目))



小雨の中で行なわれた開会式で、在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館のゴ・チン・ハー総領事は「ベトナムフェスティバルは、ベトナム市場にとって、製品やサービスを通じて、製作者やサービス提供者に紹介する機会であり、両国間の貿易の促進に貢献できる機会でもあります。大阪で開催されるベトナムフェスティバルが、在日ベトナム人コミュニティの団結性や、ベトナムと日本の相互関係を強化するイベントになると信じております」と挨拶した。

両日の最後のステージは、この日のために来日したベトナムの人気シンガーであるオレンジとホアンハイが出演する「LOVE VIETNUM SHOW」。圧巻のパフォーマンスに来場者のボルテージも一気に最高潮に達していた。最後は、ハニ総領事を含め出演者全員が舞台上に上がり、ステージと会場が一つになった感動のフィナーレとなった。

華やかなアオザイショー



オレンジのパフォーマンスで会場は最高潮に

続けて在日ベトナム社会主義共和国大使館のファム・クアン・ヒエウ大使が挨拶に立ち、「大阪のシンボルである大阪城でベトナムフェスティバルが開催できた事を大変うれしく思います。また、伝統的な芸能やベトナム民族文化、ベトナム料理を日本の皆様にご紹介できる事は有意義であり、これを通じて両国民の相互信頼、相互理解の増進に貢献し、両国の包括的な関係が全ての分野において



華やかなアオザイショー

日越関西友好協会 2024年度通常総会・懇親会

認定NPO法人日越関西友好協会(西村貞会長・築野元則理事長)は5月22日、ホテル日航大阪(大阪市中央区)において2024年度通常総会と懇親会を開催し、賑やかな雰囲気の中懇親を深めた。



総会では築野理事長を議長に選出して議事に入り、「2023年度事業報告」「2023年度決算報告」が報告された後、「2024年度事業計画」「2024年度予算」が上程され、慎重審議の上、いずれも満場一致で承認された。

引き続き行なわれた懇親会で西村会長は「先日のベトナムフェスティバルにも、小雨にもかかわらず11万5000人ももの来場者があり、やはりこれはベトナムとの市民レベルでの交流が実を結んでおり、それに我々も少しは貢献できたのかなと誇りに思っています。今後、ますますベトナムと日本とはしっかりと連携を結んで、外交的にも、経済的にもしっかりと発展を遂げる事が必要なのではないかと思っています。それに当協会が少しでも貢献できれば幸いです」と挨拶を行なった。

ベトナム社会主義共和国首相から表彰状

続けて、日越関西友好協会がベトナムと日本の友好協力関係の促進に多大な貢献があった事に對し、ベトナム社会主義共和国首相からの表彰状が、ハニ総領事から西村会長に授与された。

◆ 組合総研も参加協力する日越関西友好協会



ハニ総領事(右)と西村会長

深めるための事業を行ない、日本およびベトナムの平和と繁栄に貢献することを目的として、経済貿易交流団・留学生支援・研修生の受け入れ等さまざまな民間交流活動に積極的に取り組んでいる。1995年、設立当初の草の根の活動から始まった同協会も、関西国際空港の開港とともに、ベトナムと大阪間の直行便の空路を確立した。来年、設立30周年を迎える同協会は、ベトナム総領事館と歩み、今では関西地区で最大の日本とベトナムの友好団体に成長している。

在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 ゴ・チン・ハー総領事



をしたいと思います。第一に、経済交流活動を引き続き推進する事。第二に、人材育成、教育分野での協力を推進し、ベトナム人労働者や学生の日本への受け入れを継続する事。第三に、人的交流や観光交流を促進し、両国民の相互理解と強化に貢献する事です。

日越関西友好協会の支援により、ベトナムと関西地区、そしてベトナムと日本の友好協力関係がますます強固なものとなり、2023年11月に設立された両国民の包括的かつ戦略的パートナーシップの枠組みに貢献すると信じております。

今後ともベトナムと関西地区の協力を推進していくために、以下の提案

地域アソシエーションの芽(62)

京都大学名誉教授 本山美彦

種子をめぐる勢力(8)

ハイブランド化に突き進む食品

ハイブランドには、ある種の催眠的効果があるらしい。大きな話題となった例が京都府の高級ブランド「間人ガニ(たいざがに)」。

間人ガニは、一匹4万円を超える値が付くハイブランドである。京都府丹後地方にある「間人漁港」で獲れるカニを「間人ガニ」と呼ぶ。正しくは「ズワイガニ」である。

2024年4月4日、「兵庫県産のズワイガニを、証明する緑色の認定タグを、他の地域で獲れたカニに着けて偽装、本来の何倍もの値段で販売していた。しかも、10年以上前から偽装を行なっていた。」



ブランドとは消費者との約束の事のはず(カニの手に着いているのが認証タグ)

似たようなことも2年前に起こった。

2022年2月、熊本県産として売られていたアサリのほぼ全部が、熊本産のものではなく、外国産のものであったことが発覚した。これらアサリのDNAを分析した農水省が「熊本県産アサリの97%が外国産の可能性がある」と発表したのがある。

熊本県産のアサリは、1977年には65,732トンを生産し、1970年代には日本を誇っていた。しかし、1997年には、わずか1,009トンまで減少し、そのまま低迷が続いている。

現在、日本国内で流通している生鮮アサリのじつに、9割近くが中国、韓国からの輸入品である。輸入された生鮮アサリは、一定期間、養殖場で育てられる。これを「蓄養(ちくよう)」と呼ぶ。海で蓄養するには漁業権が必要で、漁民組合が請け負う。組合側は漁協に「漁場代」を支払う。しかし、ここから先で問題が起こった。この養殖場と市場をつなぐ業者の段階で産地がすり替わったのである。

『日本経済新聞』(20



熊本産の表示で福岡市内のスーパー店頭に並んでいたバック入りのアサリ(2022年)

13年9月24日付電子版の報道によれば、有明海の不漁は、福岡県が公共事業で海底に砂を撒いているのが原因だと、一部漁業者が住民訴訟を起こして工事の中止を求めた。県議会でも疑問の声が上がった。

事業は「覆砂(ふくさ)」と呼ばれるもので、泥が堆積した海底に粒の粗い砂を撒いて環境の改善を図り、ノリや貝類の成育を促す。福岡県は2001年度から2011年度までに千ヘクタール以上の海底を砂で覆った。

しかし、結果は無残なもので、アサリはもとより、アナゴも減少の途をたどるばかりであった。漁民によれば、事業で使われた砂は、「県の基準を満たさない泥のような悪質な砂だった」と言う。

しかし県は「サルボウなど漁獲が増えている貝もあり、ノリの生産も安定している。砂は基準に合致している(水産振興課)と反論、覆砂を継続した。

主なアサリの産地偽装

是正指示日	業者の所在地	違反概要	数量(トン)
2015年2月10日	佐賀	中国産・韓国産を「熊本産」と表示	9.3
2月25日	熊本	中国産・韓国産を「熊本産」と表示	3545
9月24日	千葉	韓国産を「熊本産」と表示	4.3
2016年2月9日	三重	韓国産を「熊本産」と表示	0.2
2018年3月9日	福岡	中国産・韓国産を「熊本産」と表示	15151
2019年12月27日	佐賀	中国産・韓国産を「熊本産」と表示	646
2021年12月8日	熊本	中国産・福岡県産を「熊本県産」と表示	630
12月16日	熊本	中国産を「活きあさり(熊本産)」と表示	25

として表示されたアサリは21店舗で売られていた。その番組に登場したある業者は、「外国からの輸入アサリのほぼすべてを熊本産と偽って売っていた」と証言した。その業者は、「産地偽装をしなくても生きていける業界になりたい」と語った。

米(コメ)でも進むブランド化

現在、日本の米には代表的なものだけでも、水稲の「うるち」304品種、「もち」73品種、「酒米」125品種で合計502品種ある。

その中でブランド米として目立つのは5つしかない。2020年産米で見ると、酒米・もち米を除く主食米(うるち米)のうち、銘柄種別作付け割合のベスト5は、「コシヒカリ」(33.7%)、「ひとめぼれ」(9.1%)、「ヒノヒカリ」(8.3%)、「あきたこまち」(6.8%)、「ななつぼし」(3.4%)である。この5銘柄だけで、全国の米販売量の60%以上を占めた。

(※)「偽りのアサリ」追跡1000日 産地偽装の闇」。同番組は第59回ギャラクシー賞のテレビ部門で奨励賞を受賞。また報道活動部門でも入賞。YouTubeで視聴可能。



提言文芸

~投稿歓迎~

・被爆地が選んだ首相が武器を売る (荒馬宗介)

・この国は 貧富の格差も 世襲され (東洲斎酒脱)

戦後生まれとはいえ、原爆の惨状は学んでいるはず。広島出身だから、核兵器廃絶の言葉に説得力があるはず。何のために広島でサミットを開いたのでしょうか。ほとんど広がる貧富の格差。もはや格差ではなく身分のよう。何とかせねば!

社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三丁一六三ー三
電話 (06) 4866-2140
FAX (06) 4866-2140

サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義昭

〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口六五ー一
電話 (078) 904-1369
FAX (078) 904-1107

関連団体を支援する会 K U

関西生コン関連経営者会

書籍紹介

『南海トラフ地震の真実』
東京新聞記者 小沢慧二 著

「政府が予測している南海トラフ地震の発生確率は科学的な根拠が薄い」と著者は言う。元日の能登半島地震は日本中に衝撃を与えたが、それは政府の予測では「能登は地震発生確率が高い場所ではなかった」からだ。地震は日本のどこで起きてもおかしくないのに、南海トラフ地震の確率だけが高いのはなぜか。実は南海トラフ地震の発生確率が「水増し」されており、そして研究費という甘い汁を吸っていた地震学者らは、怪しいと知りながら、そこに科学のお墨付きを与えていたのである。本書は学問の恥部を暴くノンフィクションだ。

発生確率「70〜80%」が実は「20%」
数字を決めたのは科学ではなかった

西日本から東日本の太平洋側を中心に、大きな被害が予想される「南海トラフ地震」。この地震がこれから30年以内に起きる確率を、政府は「70〜80%」と予測する。著者の取材によると、これは他の地震より高く出る、特別な方法で算出した数値という事だ。

出されていると思っていた確率が、いい加減な根拠をもとに政治的な決められ方をしていたことに唾然とする。

「南海トラフは発生確率の高さでえこひいきされている」。ある学者の告発を受け、その確率が特別な計算式で水増しされていると知った著者。この「えこひいき」がなければ確率は20%程度となる。しかし発生確率が下がれば地震対策費が減り、研究費も減る。政府の委

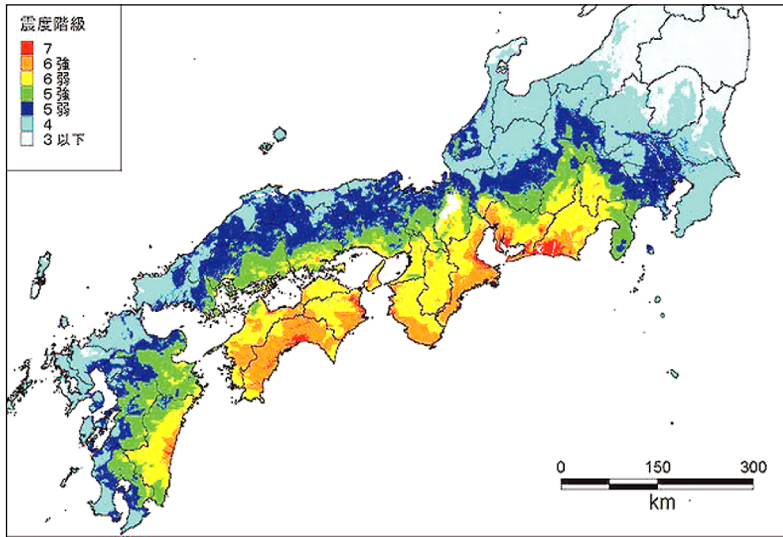
員会メンバーだった研究者たちは、過去の防災対策とのつじつまを合わせたい役所の論理に抵抗しつつも、最後は受け入れたという。

非公開の議事録に隠されたやり取りを明らかにし、予測の根拠となる室津港(高知県)の水深を記した江戸時代の古

過去に学び、誤りを正す勇気を

ここで言いたいのは、20%だから安心してよいという事ではない。20%であろうが80%であろうが南海トラフ地震は必ず来る。1月に発生した能登半島地震も、国が作成した「全国地震動予測地図」では、今後30年間の震度6以上の揺れの発生する確率が0.1%〜3%未満の地域であったので、国としても大地震が起きるとは予想していなかった。しかし能登半島地震(M7.6)は起きた。実は阪神大震

文書などを探し出して浮かんだ高い数値の裏にある「真実」。予算獲得のためにいがしるにされる科学。地震学と行政・防災の歪な関係を暴く。



南海トラフ地震で想定される震度(気象庁HPから)

頑張れ尾上部屋
来場所での巻き返しに期待

大相撲五月場所(両国国技館)は、初日から1横綱、4大関、2関脇の全員に土がつくという、春場所以上に波乱を予想させる展開から始まり、中日(5月19日)には9人いる三役(大関・関脇・小結)以上のうち5人が休場(関脇 若元春は11日目より復帰)するという異例の場所であった。そんな中、新小結の大里(二所ノ関部屋)が12勝3敗で初優勝を果たし、先場所優勝の尊富士(伊勢ヶ濱部屋)に続いて大銀杏が結えない力士の優勝となった。

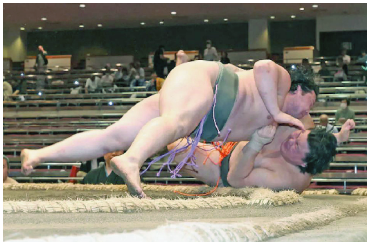
大の里は石川県出身で新潟・海洋高を経て日体大に進学。学生横綱(2019年)、全日本選手権連覇(2021・2022年)、国体成年部個人で2度の優勝を飾るなど、堂々の成績で2023年角界入り。幕下10枚目格付(※)で五月場所初土俵。今年一月場所でも方針を変えられず、それに科学がお付き合っている現状だ。日本は過去にも、そんな過ちばかり繰り返してきた。太平洋戦争でも、負けると分かっている戦争に突き進み、戦況に合わせて方針を変えられずに、国民に多大な犠牲を出した。

伊波 序二段準優勝
城間は連続勝ち越し

初土俵以来、勝ち越しを続け、五月場所を序二段東27枚目で迎えた伊波は、安定の取り口で白星を重ね、12日目(5月23日)を終えた時点で朝東・高砂部屋、優力勝常盤山部屋とともに6戦全勝で並んでいた。

13日目(5月24日)、先に取組があった朝東が優勝した。

今回、所要7場所での幕内優勝は、幕下付出では1972(昭和48)年夏場所の輪島の15場所を抜き、先場所優勝の尊富士の10場所をも更新する最速記録である。



伊波(右)をすくい投げて破る旭海雄

力勝を「寄り倒し」で破り、その後の取り組みで伊波が敗れたため、朝東が7戦全勝で優勝を果たし、伊波は惜しくも序二段準優勝賞となった。

伊波と日本大学同期生の城間は5勝2敗と、初土俵以来の勝ち越しを続けている。

初負け越しの春山 捲土重来を期して

昨春の初土俵以来、勝ち越しを続け、序ノ口優勝も果たした春山は、五月場所では2勝5敗と初め

月場所では2勝5敗と初め、その後の取り組みで幕内優勝した大の里と春山、城間、伊波は2000(平成12)年生れの同い年(春山は誕生日も4日違い)。大の里の活躍に刺激を受け、捲土重来を期して、来場所以降の活躍への期待が膨らむ。

※付出(つけだし)・・・大相撲において学生・アマチュア時代に優秀な成績を収めた力士の地位を優遇する制度。

五月場所 尾上部屋力士成績

☆印は勝ち越し

番付	四股名	成績
【幕下】		
東10枚目	春山	2勝5敗
西16枚目	北天海	1敗6休
東33枚目	城間	☆5勝2敗
東55枚目	穂嵩	3勝4敗
【三段目】		
西17枚目	大海	☆4勝3敗
西55枚目	坂林	☆4勝3敗
東58枚目	高馬山	☆4勝3敗
【序二段】		
東2枚目	照寶	1勝6敗
東27枚目	伊波	☆6勝1敗
東39枚目	富士の輝	2勝5敗
西48枚目	九鬼王	3勝4敗
西62枚目	高倉山	3勝4敗
西63枚目	玄武丸	☆4勝3敗

※七月場所(名古屋場所)の番付は7月1日に発表

南海トラフ地震の真実

小沢慧二

阿川佐和子さん推薦! 能登半島地震でもあらわになった「まやかしの確率」

数々のメディアで話題に! 発生確率 70~80% 実際は 20%!?

数字を決めたのは科学ではなかった!

菊池寛賞受賞!

アンケートご協力をお願い

平素、「提言」読者の皆様にはお世話になり、厚く御礼申し上げます。

『提言』編集部では、よりよい紙面づくりのために広く読者の声をお聞かせたいと考えております。つきましては、ご多忙の事とは存じますが、皆様にアンケートのご協力の程をお願い申し上げます。

ご回答いただけます場合は、同封のアンケート用紙に記入の上、ファクシミリで返信いただくか、もしくはホームページのアンケート記入フォームからご回答をお寄せください。

(http://www.kumaisouken.com/questionnaire/questionnaire.html)

ホームページからのご回答はこちら